指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市勝北文化センター
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市上村 335 番地の 8
	名 称 有限会社アライス
	代表者 代表取締役 富田 安彦
(3) 公の施設の所管部署	津山市教育委員会生涯学習部文化課
(4) 指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	19,587人(前年度17,292人)
(2) 事業の内容	・施設管理業務及び自主文化事業等
	(自主文化事業の内容)
	ロックコンサート、チャリティーイベント、風神太鼓教室、元気ッ
	ズひろば (太鼓)、着付け教室、ダンススクール, 勝北吹奏楽団 (ブ
	ラス勝北)
	・年間稼働率 72.2% (前年度72.2%)

3 収支の状況

0 1/2/1/1/10			
(1) 収入	総額	16,455千円	(前年度16,542千円)
(指定管理者の収入)	指定管理料		14,390千円
	利用料金収入	₹	1,695千円
	自主事業収入		221千円
	その他の収え	L	149千円
(2) 支出	総額	16,652千円	(前年度16,808千円)
(指定管理者の支出)	主な支出	人件費	6,638千円
	÷	光熱水費	4,915千円
	Ť	消耗品費	46千円
	氢	委託料 (施設管理)	2,256千円
	<u>=</u>	事業費	1,174千円
	4	公租公課	517千円
	Ž	その他	1,106千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	・大ホールの冷暖房の効きが悪い。(特に暖房)			
	・駐車場の停車枠(ライン)が消えているので停めづらい。			
	・玄関自動ドアの故障で利用に支障がある。			
	・イベント開催のPRをもっと強化してほしい。(終了後に聞くことが			
	ある)			
	・自動販売機の飲料種類を増やしてほしい。			
	・トイレが故障していることが多い。			
(2) 指定管理者の自己評価	本年度はメインとなる大ホールでの集客が増加し、利用者は昨年度			
	に比べ上回っているものの、ホール自体の利用としては減少傾向にあ			
	る。			
	少人数での楽器練習や各種勉強会の会議室利用は定着してきたが、			
	今後は、近隣市民の芸能発表及び、自主団体のイベント開催を強化し			
	ていきたい。また、更なるホームページの環境整備を行い、各種イベ			
	ント情報を発信して集客率・稼働率向上を目指します。			

(3) 市の評価

H29年度の利用者は、例年を大きく上回った昨年度を更に上回り、稼働率についても昨年度同様の数字を出している。これは指定管理者が利用者の声に耳を傾け利用促進に繋げた結果だと思われる。

しかしながら、収支においては利用者数、稼働率の増に連動しておらず、昨年度に続き赤字を計上している。これは、積極的に行っている自主事業が収入増に結びついていないものと思われるので、自主事業以外の施設利用料が増となる取り組みを進めるとともに、自主事業のあり方について精査することで、施設利用者の満足度を高め、収益の改善につながる事業実施を求める。

また、情報発信の方法についても、利用者の傾向を把握し、インターネットのHPの他にも、SNSやラジオなど、有効な手法について積極的な活用をしていただきたい。